

第4章 記号類の使い方

その1 句読符

1. p100 3. 読点

読点についてお尋ねします。

佐津間地区（佐津間、西佐津間、中佐津間、南佐津間）と原本では読点が使われています。てびきには、読点は墨字の「、」に対応させて用いる。とありますが、点訳者の判断で中点に変えてもよいのでしょうか。中点はマスあけや他の記号に変えたりしますが、読点も他の記号に変えることができますか。

【A】

この読点は用法を間違えているわけではありませんので、原文のまま用いることが原則となります。

中点やスラッシュなどを他の記号に替えるのは、墨字のまま用いると点字では誤りになったり、点字で対応する記号がない場合などです。

墨字と同じ用法で、点字でも用いることができる場合は原文のとおりが原則となります。

読点でも、「てびき」p101の【処理2】～【処理4】やp132～p133のような場合は省略したり、他の記号に替えたりすることはあります。

2. p103 4. 中点 (2) ④

空き家バンクの物件概要にはこう記されていた。

土地面積「一」

地目「一」

建物の構造「一」

建築「一」

設備「水道・公営 排水・汲み取り 電気・東京電力 ガス・プロパン」

上記の設備の後のカギの中のマスあけですが、この場合の中点は使わないと思いますので「スイドー■■コーエイ■■ハイスイ■■クミトリ■■デンキ■■トーキョー■■デンリョク■■ガス■■プロパン」でよいでしょうか。

【A】

すべて二マスあけになると前後の関係が分かりにくくなりますので、中点の代わりに棒線を用い、各項目の区切りに読点を補うなどの工夫が必要になると思います。

「スイドー■ー■コーエイ、■ハイスイ■ー■クミトリ、■デンキ■ー■ト

ーキョー■デンリョク、■ガス■ー■プロパン」

少し長くなりますが、各項目は分かりやすくなると思います。

3. p103 4. 中点 (2) ④

本文中に、以下の文が出てきます。

放流のサイレンが流れたのは、昼休みだった。外へ昼食を買いに出た同僚が慌ただしく戻り、「すごい雨」と興奮した様子で言った。その時、ピンポンパンと放送チャイムの音がした。「市役所にお越しのみなさまにお知らせです。本日、ダムの放流を行っています」そう説明する男性の声に続いて、ウーツ、と高いような低いような音でサイレンが鳴ったあと、女性の声でアナウンスが流れた。

「かわが・ぞうすい・しています・あぶない・ですので・ちかづかない・ように・しましょう」

衣津実が立つカウンターの近くに窓はなかったが、カウンターの窓口を横に五つ挟んだ先にある正面入口の自動ドアが開く度、外から雨の空気が入ってきた。

「かわが・ぞうすい・しています・あぶない・ですので・ちかづかない・ように・しましょう」の中点の処理ですが、「てびき」の(2)③に従って、原文の意図や読みやすさなどを考慮した上で、中点はマスアケに代えると、本来続けるべき助詞のところがマスアケになってしまいます。

著者は、アナウンスが途切れ途切れに聞こえることを、中点を使って表現したいのではないかと思うのですが、どう点訳すれば伝わるのでしょうか。それとも中点を考えないでそのまま通常に分かち書きをしていいものでしょうか。

【A】

中点の働きは「対等な関係を表す」ことですので、点字で中点が使われていても、途切れ途切れに言っているんだなということは伝わらないと思います。

ご質問の場合は、そこで切れて聞こえる（間があいて聞こえる）状況だと思いますので、中点の所を読点に置き換えて点訳するのがよいと思います。

カワガ、■ゾースイ、■シテ■イマス、■アブナイ、■デスノデ、■チカヅカナイ、
■ヨーニ、■シマショー
となります。

その2 囲みの記号

1. p106 2. カッコ類

カッコの前のマス開けについて質問します。

- ・日本語訳 (a) を四角で囲んでしめしたが
- ・戸田聡訳 (b) を「ユダの福音書」からしめしておこう

その後の文章では (a) 訳、(b) 訳というように書かれています。

このような場合のカッコの前は一マスあけでしょうか。

【A】

- ・日本語訳 (a) を四角で囲んでしめしたが
- ・戸田聡訳 (b) を「ユダの福音書」からしめしておこう

の場合は、この後で (a) 訳、(b) 訳と書かれていたとしても、この文の中では前の語の説明と判断して、前に続けて書くのが良いと思います。

ニホンゴヤク (外 a) ヲ■～

トダ■サトシ■ヤク (外 b) ヲ■～

その後は、(外 a) ヤク と書いてよいと思います。

なお、(a) 訳が、カッコで囲まれている中に出てきたり、第1 カッコの開きと続いて出てきたりすると二重カッコにしなければならず、読みにくくなってしまう場合があります。このような場合、初めから統一して (a) 訳のカッコを外し、外 a = ヤクと書く方法もあります。

2. p109 3. 指示符類

点訳書凡例の中、あるいは文中でも囲み記号の中に入れたことを示す場合に、記号の形を示して、第1 指示符開■指示符閉じ、第1 カギ開■第1 カギ閉のように書くのがいいか、第1 指示符あるいは第1 カギ内に入れたと書くのがいいか迷います。「てびき」p110では指示符の中に「メメ」とあり、p185の系図の中では「第1 カギ内に」となっています。囲み記号によって変えるということでしょうか。

【A】

一般には、「てびき」p110にあるように記号の形を書いて中に「メメ」と書くのが分かりやすいと思います。

ただ、第1 指示符などの指示符類や、第2 カッコなどと言われても、すぐに形を思い出せない場合も多いのですが、第1 カギや第1 カッコは、だれでもすぐに形が思い浮かぶ一般的な記号ですので、このような場合は、わざわざ形を示さずに記号の名前を書くだけでもよいと思われれます。第1 カギの場合も、記号の間にメメと書いてもよいのです。

3. p110 4. 外国語引用符

「てびき」p99最終行の例で、「引 a i r 引？」と、疑問符 (②⑥) が外引符の外になっていますが、「てびき」p136では「一般書で可以使用できる記号類」として、「？」

(②③⑥)」があります。英語と日本語の文では、疑問符が異なるのはわかります。p99の例で、「引 a i r ? 引」(?は②③⑥)ではいけないのでしょうか。

また、「引大大GO! 引」としたところ、前述の例を理由に「引大大GO 引!」(外引符のあとに感嘆符)と校正の指摘を受けました。私としては、英語で使用できる句読符類にはいつているものは、外引符の中に入れてもいいと思うのですが。

犬に向かって、「パトラ、GO!」と言ったときには、どちらになりますか。

【A】

「てびき」p99の例は、この疑問符は「air」に付いているのでは無くて、この文全体が日本文の疑問形になっているので、日本語の記号を用いています。

「行こう!」の英語は「g o !」です。

という場合は、

「イコー!」ノ■エイゴワ■「引 g o ! 引」デス。

になります。

疑問符や感嘆符が、日本語についているのか、英語に付いているのかで外国語引用符の中に入れるのかどうか違ってきます。

文全体がGOだけで、それに感嘆符が付いているのでしたら

引大大GO! 引

となります。

「パトラ、GO!」で一つの文になりますので

「パトラ、引大大GO 引!」と書くのがよいと思います。

4. p111 5. 点訳挿入符

胡という字について書かれているのですが、その中に胡瓜についての話があります。以下その一部です。

彼は・・・胡地である西域に行きその時もたらしたものが、胡瓜だった。・・・今も中国語では胡瓜(フーグワ)というのである。もっとも、中国では黄瓜(ホワングワ)ともいう。・・・胡瓜は、奈良朝の頃日本に伝わったが、渡来当時、表記としては黄瓜・胡瓜がともに用いられた。

(1) 胡瓜についてですが、最初に((コとウリ))または((コのウリ))と説明を書いて、その後文脈によってコウリと書いてはいけないでしょうか。胡瓜は「コカ」とは読むが「コウリ」とは読まないのが適切ではないという意見もあります。特に最後の表記としてはの部分で考えると、キウリ・コウリがよいと思うのですが。

(2) 中国語では胡瓜(フーグワ)・・・の部分ですが、フーグワはルビではありません。原本通りではありませんが、中国語と書かれていますのでフーグワ(コウリ)ホワングワ(キウリ)と書いてはいけないでしょうか。また、中国語の読み方だけですと、その後胡瓜・黄瓜のことも出てきますので、漢字の読みを入れた方がよ

いと思っています。

【A】

胡瓜は、現代語の表記では、キュウリですので、胡瓜がキュウリであることを書かなければならないと思います。中国語の読みを入れてもよいと思いますが、漢字の説明も必要だと思います。以下のように書いてはいかがでしょうか。

彼は・・・コチである西域に行きその時もたらしたものが、キュウリ((「コ」ニ■ウリ))だった。・・・今も中国語では、フーグワ((コカ、■「カ」ワ■ウリ))というのである。もっとも、中国ではホワングワ((コーカ、■「キイロ」ト■ウリ))ともいう。・・・キュウリは、奈良朝の頃日本に伝わったが、渡来当時、表記としてはキュウリ((キイロ))・■キュウリ((コ))がともに用いられた。

5. p111 5. 点訳挿入符

原文に「楽聖ならぬ学生が」とあります。これに

楽聖は音楽の天才

学生は生徒

と点訳挿入符で説明を入れたのですがよいでしょうか。

【A】

前後の文脈から、おそらくこの場合、登場人物が学生であることは、点訳挿入符がなくても分かるのではないかと思います。

「楽聖」のほうにだけ《音楽の天才》《偉大な音楽家》など入れればよいと思います。もし、前後の文脈から「楽聖」が自然に思い浮かぶのでしたら「学生」の方にだけ点訳挿入符を入れます。

「がくせい」の場合、この二つの意味ぐらいで、多くの意味が思い浮かぶ言葉ではありませんので、このような処理でよいのではないのでしょうか。

6. p111 5. 点訳挿入符

心理カウンセリングの本です。

「きく」、「聞く」、「聴く」、きく、聞く、聴くと6通りの文字使いがたくさん出てきます。基本表現はここを「きく」とひらがなですが、中盤から「聞く」と「聴く」を分けて説明してあり、以降織り交ぜて出てきます。

例としては

ここをケアするために「きく」は役に立つ。

だとするならば、どのようなきき方をすれば、きくことの力を最大限に発動させることができるのか？

(中略)

「聞く」は言葉の表層に、「聴く」は言葉の深層に焦点を合わせることと言ってもいい。表層に現れている意識的なところを聞くのと、深層に潜んでいる無意識的なところを聴く。

いちいち点挿は読みにくいと思いますし、カギでくくろうと思ってもうまくいきません。どのようにかき分けたら良いのでしょうか。

【A】

心理カウンセリングの本では、「きく」ことは、テーマの中心になると思いますので、少々煩雑でも書き分けることが必要になるのではないかと思います。

本文の途中で説明するのではなく、点訳書凡例で断ったほうがよいと思います。

原文には「きく」が、ひらがなと漢字2種で書き分けられているので、ひらがなはそのまま「キク」と書き、新聞の「聞」を用いている場合は、「キク（ブン）」、聴診器の「聴」を用いている場合は「キク（チョー）」と記した。

例えば、このように断って、点訳挿入符ではなく、第1カッコで囲むようにすれば煩雑さも少し減るのではないかと思います。

7. p111 5. 点訳挿入符

原文に「ペルシア数字の下に併記されているUS\$ 2 5 0 0 0の八文字だけだった」とあります。「US\$ 2 5 0 0 0」はどう点訳すればよいのでしょうか。

外大大US ■数2マン ■数5 0 0 0ドルと書いていいのでしょうか。

その場合、点字では8文字ではありませんが、原文通り8モジと点訳していいのでしょうか。

【A】

点訳は、外大大US ■数2マン ■数5 0 0 0ドル
と書いてよいと思います。

8文字もそのままでも墨字で8文字のこととわかると思いますが、点訳挿入符で
数8モジ点挿ドルワ ■キゴー点挿

数8モジ点挿スミジデワ ■ドル ■キゴーヲ ■イレテ ■数8モジ点挿

などと、必要に応じて説明してもよいと思います。

8. p111 5. 点訳挿入符

人の名前の文字を説明する場合の漢数字の書き方について質問いたします。

「一郎のイチは漢数字の一」「百の花と書いてモモカ」といった説明の文があるとき、「カンスージノ 1」「1 0 0 ノ ハナト カイテ」のように、数字を使って書くの

でしょうか。それとも仮名でイチ、ヒャクと書くのでしょうか。

仮名で書く場合、「数字を使う名前の例」として挙げられた「十に重ねるでトエ」といった説明について、十はジュー、トオのどちらがいいでしょうか。

【A】

数字を表していますので、カンスージノ■数1、数100ノ■ハナと書くのがよいと思います。

トエと読ませたいので、「トオニ■カサネルデ■トエ」でよいと思います。漢字の説明の場合は「カンスージノ■数10」になると思います。

9. p111 5. 点訳挿入符

『目の見えない白鳥さんとアートを見にいく』（川内有緒）の校正をしています。

漢字で書けば、「普く」「遍く」「汎く」。それはつまり「広く、いきわたる」という意味だ。

この文章の漢字の違いを

「アマネク《フツーノ□フニ□クノ□オクリガナ》」

「アマネク《ヘンロノ□ヘンニ□クノ□オクリガナ》」

「アマネク《ハンヨーノ□ハンニ□クノ□オクリガナ》」

《～》は点訳挿入符

としたのですが、的確な書き方を教えて下さい。

【A】

カンジデ■カケバ■「アマネク」点挿カンジ■数3シュ点挿。

後ろに意味が書いてありますので、これだけでよい場面のように感じます。

漢字の説明を書くのであれば、「普く」に「フツー」、「遍く」に「ヘンロ」、「汎く」に「ハンヨー」と入れ、

カンジデ■カケバ■「アマネク」点挿カンジ■数3シュに「ク」のオクリガナ。■

■フツーノ■「フ」、■ヘンロノ■「ヘン」、■ハンヨーノ■「ハン」点挿

とまとめて書いた方がよいと思います。

10. p111 5. 点訳挿入符

「香子」を点訳しています。

カッコか、点訳挿入符を使って書くのか迷っています。歌に対する掛詞です。

1. うらきらし朝雲りせしみゆきには さやかに空の光やは見し

霧が立ち込めて朝曇りした中の行幸でしたので、み雪のためにはっきりと空の光、

帝の姿は見る事ができかねました、という感想で、「みゆき」はもちろんみ雪と行幸を掛けていた。

(点訳者)「ミユキ」ワ■モチロン■ミユキ(ユキ)ト■ギョーコーヲ■カケテ■イタ。

(校正者)ミユキ((ユキ))ト■ギョーコーヲ・・・

2. 小塩山みゆきつもれる松原に 今日ばかりなる跡やなからん

小塩山に雪が積もる松原には、行幸が何度もありましたが、今日ほど素晴らしい例はないのではないのでしょうか、という言祝で、「みゆき」にはみ雪と行幸(みゆき)を掛けていた。

(点訳者)「ミユキ」ニワ■ミユキ(フル■ユキ)ト■ミユキ(ギョーコー)ヲ■カケテ■イタ。

(校正者)「ミユキ」ニワ■((フル■ユキ))ト■ミユキ((ギョーコー))ヲ

3. わが身こそうらみられけれ唐衣 君が袂に馴れずと思えば

我が身が恨めしいです、あなたと親しくさせていただけないと思います、という卑下で、「身」には衣の見頃を、「恨み」に裏、「慣れ」に萎(な)れを掛けていて・・・

(点訳者)「ミ」ニワ■コロモノ■ミゴロヲ、■「ウラミ」ニ■ウラ(ウラガワ)、■「ナレ(シタシム)」ニ■ナレ(ナエル)ヲ・・・

校正者はカッコを点訳挿入符で書くと言っています。しかし、長い掛詞もあり、点訳挿入符が読む人のわずらわしさにはならないのでしょうか。

【A】

基本的には漢字の読みを書くだけでしたら、カッコを用い、漢字の意味の説明を入れる場合は、点訳挿入符になります。

ただ、掛詞の説明のために、「裏」を「うらがわ」と書く程度でしたら、読む方の煩わしさを考慮して第1カッコで書いてよいと思います。読む方に、「ここまで原本に書いてあるのか」と誤解されるような場合でしたら、点訳挿入符で書く事になります。

「みゆき」を(フル■ユキ)(ギョーコー)と、「ナレ」を(ナエル)と書くのは第1カッコでよいと思います。

その3 線類

1. p113 1. 棒線・点線

『アイヌからみた北海道一五〇年』という本の引用文献の書き方についてです。

新井かおり、二〇〇五年、「台湾原住民族が……」

————、二〇一〇年、「自己を省察するための…」

————、二〇一四年、「戦後のナラティブ・ターン…」

引用文献が列挙されていて、同じ著者の記事が続く場合、行頭の著者名に棒線が使われています。それぞれの文献は著者名、掲載年、記事名、雑誌名、出版社、引用頁があり、かなり長いです。

分かりやすさを考えて、それぞれの文献ごとに、著者名を書いてもよいでしょうか。それとも、原本通り3マス目から②⑤②⑤の棒線を使用したほうがよいでしょうか。

【A】

前の著者と同じ場合に、省略して棒線が書かれていますが、点訳する場合は、ここに著者名を入れます。

視覚的には棒線で略されていても前の箇所を容易に確認できますが、点字では触読しているところから指を離して前の記載を参照するのは負担になる場合もありますので、棒線に当たる部分を省略せずに書きます。

2. p113 1. 棒線・点線

文を棒線で括っている時の点訳方法を教えて下さい。

原本で

移民や冒険者に対する根強い偏見があるらしいデニスは、そうなるに至った大きな事件—冒険者だった父親の死に関する—があったという。

とあります。この時の棒線を点訳者は、原文通りに②⑤②⑤の棒線で点訳しています。原文通りで間違いとは思いませんが棒線で括った文が前の説明と考えて（～）に置き換えても良いですか。校正の範囲外のことですが確認したいと思いました。

【A】

この棒線の用法は確かに説明のカッコと同じですが、墨字の棒線にももともとそのような用法があります。

「点訳のてびき第3版指導者ハンドブック第4章編」の巻末にある「くぎり符号の使ひ方」の「(4) ナカセン」に《七、補助的説明の語句を文中にはさんでカッコでかこむよりも地の文に近く取り扱ひたい場合に用ひる》とあります。

ここから、これは棒線の用法の一つとして、墨字に対応して用いてよい棒線になります。

ですから、原本で使用している棒線をカッコに換えるように校正するのは、行き過

ぎになると思います。

3. p114 2. 矢印類

「こちらの文章はホームページ>諸文書>社会福祉委員会からダウンロードが可能です。」

上記の文章の「>」はどのように点訳すればよいでしょうか。

【A】

ホームページの大きな区分から、より詳細なページへと示していますので、矢印で書いてよいと思います。

ホームページ■→■諸文書■→■社会福祉委員会
となります。

4. p114 3. 波線

以下の例は、波線を使うことができますか。「カラ」などに置き換えたほうがよいでしょうか。

①紀元前1600～同1028年に （紀元前1600年から紀元前1028年の意）

②第1号、1973年～第529号、2022年

（1973年出版の第1号から2022年出版の第529号までの意）

【A】

波線は範囲の前と後ろがあればつながることができますので、前後の項目にマスあけが含まれても波線を使用することはできます。

① キゲンゼン■1600③⑥③⑥ドー■1028ネンと点訳して問題ありません。

②の場合も 第1号、■1973年③⑥③⑥第529号、■2022年と書いてもよいと思いますが、前後の項目に読点があって、誤読の恐れがある場合は、「カラ」としてもよいと思います。

その4 伏せ字とマーク類

1. p119 6. アットマーク

アットマーク@について質問いたします。

日本語の文中に g@me. という映画の題名が引用されています。

原作の書名は「ゲームの名は誘拐」なので、game をもじったタイトルだと思いますが、アットマークをどのように書き表せばよいでしょうか。

【A】

ゲームと読みますので、外国語引用符で囲んで、引 g a m e 引 と書くのがよいと

思います。必要があれば、点訳挿入符で、「a がアットマークで書かれている」のように説明することになります。

その5 その他の記号類

1. p121 2. 小見出し符類

小見出し符の使い方ですが、小見出し符の後一マスあけて続けて書く書き方と、改行して3マス目から書くのを、いっしょに使えるでしょうか。

「主な機能」を小見出し符を使って書く場合の書き方です。

主な機能 小見出し符 障害福祉サービスの検索機能
福祉に関するお知らせ配信機能
事業所情報や空き状況の検索機能
公共施設等のバリアフリーガイドマップ機能など

主な機能 小見出し符 障害福祉サービスの検索機能・福祉に関するお知らせ配信機能・事業所情報や空き状況の検索機能・公共施設等のバリアフリーガイドマップ機能など

主な機能 小見出し符
障害福祉サービスの検索機能
福祉に関するお知らせ配信機能
事業所情報や空き状況の検索機能
公共施設等のバリアフリーガイドマップ機能など

広報誌で使っているのははじめの用法ですが、それでは小見出し符の効用が障害福祉サービスの検索機能で終わってしまうのではという意見もあります。

広報誌の場合行あけは大きな見出しだけです。

【A】

ご質問のような場合は、小見出し符の後、改行して、すべての項目を3マス目から書くか、小見出し符の後一マスあけて、すべての項目を読点などでつないで入れるか、どちらかになります。

ご質問にある、2番目か3番目の方法になります。なお、中点は主に語の並列に用いますので、このように長い場合は読点の方が適していると思います。

- ■ 主な機能 小見出し符
- ■ 障害福祉サービスの検索機能
- ■ 福祉に関するお知らせ配信機能
- ■ 事業所情報や空き状況の検索機能
- ■ 公共施設等のバリアフリーガイドマップ機能など

■ ■ 主な機能 小見出し符 ■ 障害福祉サービスの検索機能、■ 福祉に関するお知らせ配信機能、■ 事業所情報や空き状況の検索機能、■ 公共施設等のバリアフリーガイドマップ機能など

情報誌などでは、改行が多いと項目の区切りが煩雑になり分かりにくい場合もあり、項目をすべて読点でつないで入れる方が適している場合もあります。

2. p121 2. 小見出し符類

5マス目書き出しより小さな見出しがあり、小見出し符を用います。

<ちょこっと解説／更級日記> という部分です。

この場合、<囲み記号>を省略し、／（スラッシュ）を二マスあけにしたいと考えていますが、小見出しを使う場合も囲み記号は省略していいのでしょうか。また、見出し部分に二マスあけがあってもかまわないのでしょうか。

【A】

<～>が、小見出し全体を囲んでいますので、他の見出しに影響が無ければ、囲みの記号は省略して差し支えないと思います。

また、小見出し符を付ける見出し内に二マスあけがある場合もありますので、スラッシュの箇所を二マスあけにしてもよいと思います。

3. p122 2. 小見出し符類 【備考】

【備考】に小見出し符を使えないところがありますが、カッコ内以外で、行の途中とはどんな場合ですか

【A】

小見出し符類は、カッコの中、点訳挿入符の中、段落挿入符の中でも用いることはできません。また行頭3マス目以外の5マス目、7マス目などでも用いることはできません。

また、日時：○月○日 場所：○○会議室のように複数の事項が改行せずに追い込んで書いてある場合に、日時の後、場所の後に小見出し符を使ってしまうという誤りを見受けることがあります。このような場合も小見出し符を用いることはできません。小見出し符は語句の末尾に付ける記号で、小見出し符にたどり着いてから、

ここまで読んできた語が小見出しだったと遡って理解することになるので、どこから始まっていたかが明確でないと困ります。その意味で3マス目から始まる語全体を小見出し扱いするときにはしか使えないという制約があります。

4. p122 「コラム24」

小説の中にMVの作品名として『RE:BORN』という表記が出てきます。この場合てびきP138の例とは違いコロンの後にスペースがないので、

引大大RE②⑤大大BORN引

とコロンの後は続けて書いても良いのでしょうか。

【A】

日本映画に『RE:BORN』（リボーン）がありますが、これを指すのか、または同じように発音する作品ではないのでしょうか。

とすると、このコロンは視覚的な効果を意識して用いられていると思いますので、コロンは省略して

引大大REBORN引と書くのがよいと思います。文脈上必要でしたら点訳挿入符で《Eの後ろにコロンがある》ことを補うとよいと思います。

この作品を指すのではなく、実際にREの後ろにコロンが、文章記号として用いられている場合は、英語のコロンは必ず後ろを一マスあけます。

5. p123 3. 文中注記符

本文中の語句に*がついていて、その語句の説明が欄外下方にあります。これは文中注記符を付けて説明すればいいと思っています。

ただ、さらに文中の語句に（注）とついて、章の末に筆者の説明があるのです。

語句の意味の説明と筆者の（注）とをどのように点訳したらいいのでしょうか。文中注記符に番号を振って、点訳書凡例でことわるにしてもどのようにしたらいいかアドバイスをお願いします。

【A】

いくつかの方法が考えられます。

1. *も（注）も共に筆者が付けたもので、ともに章末に前から順番に書いても差し支えない種類のものでしたら、*と（注）の区別なく、出てきた順番に数字付きの文中注記符をつけ、各章の最後に番号順に説明を書いていきます。

章が変われば、また、文中注記符を1から付けていきます。

2. *と（注）をまとめてしまうのは不都合な場合、たとえば、片方は筆者注で片方は訳者注だったり、片方は筆者注で片方は編集部が付けた注だったり、片方は出典や参考文献類でそれらは別にまとめた方が分かりやすかったりした場合は、*に

は、1からの番号を入れた文中注記符を用い、(注)には001からの番号を付けた文中注記符を用いて区別することもできます。「てびき」p124【処理2】を参照してください。

また、(注)が章に一つだけの場合は、(注)には番号を付けない文中注記符を用いることもできます。

このように、区別して注記を付けた場合は、片方は章末ごとに説明を入れ、片方は最終巻の巻末にまとめて入れることもできます。

いずれの方法を採用しても、かならず点訳書凡例で断ります。

6. p123 3. 文中注記符

現在点訳している本は、注記は*印の付いている語句の段落の直後にあります。

注記は長いものでは、点訳頁で2頁くらいになるものもあります。

各見出しの最後に注記をまとめて入れるより、原本記載通りの場所（語句のある段落の直後）のほうが、読み進めていく上で、わかりやすいと判断しました。

その場合も、段落と段落の間に注記を入れることになるので、枠線で囲むことになりますか。原本記載通りの位置なので、本文と区別するために、前後を1行あけにするという処理はできませんか。

【A】

段落と段落の間に注記を入れる場合に、前後1行あけでは、本文の1行あけとの区別も曖昧になりますので、枠線を用いることをお勧めします。特に、点訳して2ページにもなる注記を段落の間に入れた場合、その注記を飛ばして読みたいときに、どこから本文に戻るのかが分かりませんので、枠線で囲んで終わりの位置を明らかにする必要がありますと思います。

ただ、そのように長い注記を段落と段落の間にいれて、本文を中断させることが分かりやすいかどうかについては、疑問に思います。

注記と言っても、その部分を読まないと前に進めないような、本文と密接に関係した注記なのかも知れませんが、その点を検討された上での判断なのでしょうか。

7. p123 3. 文中注記符

第1章から最終章まで、注記番号1からついていて連番になっています。説明は各章の終わりにあります。点訳でも注記を章の終わりに入れようと思いますが、章が変わるごとに番号を1からにつけかえるのでしょうか。

【A】

「てびき」に特に書かれてはいないのですが、章ごとに注記の説明を書いた場合は、章が変わるごとに文中注記符の番号を1から付けるのが一般的です。

点訳書としての文中注記符の番号になります。全巻を通して文中注記符に囲まれる

数字が多くなっていくよりも読みやすいと思います。

8. p125 4. 星印

段落挿入符の中は、段落の始まりと考えて、星印を使ってもいいでしょうか。

例えば、新聞の最初の前文（リード）の部分の最後に、注意を促すような感じで星印が使われているとき。以下の文章はタイトルの直後に書かれたもので、このあとに本文が続きます。レイアウトも本文とは異なり、字下げされています。

新聞づくりは人づくり

自分を変え

読者を変え

社会を変える

※「変え」は「成長・進化・発展」と置き換えてください

この部分を段落挿入符で囲みたいと思います。

そのとき、

((■シンブンヅクリワ・・・

■■★■「カエ」ワ■「セイチョー・ クダサイ■))

のようにすることは問題ないでしょうか。

もし仮に、前文の冒頭に★が来ていたら、

((■★■「カエ」ワ■「セイチョー・ クダサイ

■■シンブンヅクリワ・・・カエル■))

のような使い方ができるでしょうか。直後にあるときは、(チュー)などに置き換えるべきでしょうか。

Q&Aでは、「挿入文の場合は、その中の3マス目(=5マス目)から星印を書いてよい。開きカッコの後ろには星印を続けない」という説明がありましたが、段落挿入符はどのように考えればいいでしょうか。

【A】

■■((■ 新聞づくりは人づくり

■■自分を変え

■■読者を変え

■■社会を変える

■■ヲヲ■「変え」は「成長・進化・発展」と置き換えてください■■))

と書くことはできると思いますが、段落挿入符の開き記号の直後に星印は書くことができません。カッコと同じ囲み記号ですし、星印の前二マスあけることが出来ま

せんので、(チュー)などに置き換えることになります。

なお、最後に星印がある場合も、(チュー)などに置き換えた方が分かりやすいと思います。

9. p126 5. 詩行符

島崎藤村『桜の実の熟する時』について書かれたものです。

原文(青空文庫で確認しました)は、

思わず捨吉は振り返って見て

「お繁さんじゃないか」

と自分で自分に言った。

とそれぞれ行を替えて書かれています。

それをこの本の著者は

〈思わず捨吉は振り返って見て/「お繁さんじゃないか」/と自分で自分に言った〉と/
を使い全体をカギで囲って書き、この部分について説明をしています。

このような場合、どのように点訳すればよいのでしょうか。

短歌や俳句ではありませんから詩行符を使う事はできないと思いますし、「てびき」
p148にはその部分で行替えをするとありますが、カギで囲まれているのでそれもあまり適切ではないような気がします。

【A】

この行替えの仕方について著者は説明をしているのでしょうか、それともこの部分の表現や背景について説明しているのでしょうか。

行替えの仕方が重要なのでしたら、点訳挿入符を用いて

《行替えの部分を二マスあけた》または、《行替えの部分に、詩行符（④⑤⑥）を用いた》のように断って書くとよいと思います。

行替えが必要ない場合は、これも点訳挿入符で、《行替えの部分を示してあるが省略した》と断って、〈思わず捨吉は振り返って見て「お繁さんじゃないか」と自分で自分に言った〉と普通に点訳してよいと思います。

なお、点訳挿入符は、これらの文の直後に入れます。

10. p128 7. 空欄符号

空白の部分をどう表すか？

主峰 川内 対 藤

二陣 対 室木

中堅 江田 対

副将 対 二宮
大将 森下 対

【A】

原文の文脈によりませんが、空白の所には必ず誰かの名字は入ります。

それがまだ決まっていないということでしたら、そこに空欄符号を入れてもよいと思います。「てびき」p128 7. の記号です。

もし、もう決まっているがあえて隠してあるという意味の場合は、伏せ字の××を使ってもよいと思います。

空欄符号か伏せ字かどちらかを使用するのがよいのではないのでしょうか。

11. p128 7. 空欄符号

市の広報で空欄に文字を入れるクイズがあります。

Q 1 市民の方々が地域活動やボランティア活動について広く学び、活動に取り組むきっかけとなるように開催した講座

A 1 地域□□□□講座

2つ目の空欄の上に①とあります。

このような場合、空欄符号を使って

外大A数1。■チイキ■□(1)□□□■コーザ

のように点訳してよいのでしょうか。

【A】

「地域□□□□講座」と原文にあります。漢字仮名交じりで4文字ですので、点訳で空欄符号を4個書いても意味がありません。全体で一つの空欄符号を書き、行を替えて点訳挿入符で説明を加えるのが良いと思います。

■■外大A数1. ■チイキ■④⑤⑥ フフ①②③■コーザ

この下に点訳挿入符で《原文では、4文字分の空欄があり、2文字目の上に（1）とある。点字では〇〇マスの語》のように、正答が分かれば点字では何マスの語かを書いてあればクイズを解くことができます。

その7 体系の異なる点字表記

1. p136 1. 英語

一般書の中に次のような文章があります。

This is an __. It

のような文章の__の部分当てはまるのです。

ここにはappleやorangeが入ります。

点訳者は英文の__には③⑥③⑥にピリオド。次行の日本語には②⑤②⑤の棒線を使っています。空欄を表しているのだと思いますが形の違う記号でも良いのでしょうか。英文の__を指しているのだから③⑥③⑥に統一しても良いのでしょうか？

【A】

英語の記号と日本語の記号は、同じ用法でも形が異なりますから、英文に③⑥③⑥を用いた個所に、日本語で棒線を用いるのは正しい判断です。

ただ、本来ダッシュは前の語と続けますが、この場合は

This is an ■③⑥③⑥. となります。

英文の__の部分は、ダブルダッシュになることも多いので、すべてダッシュになるわけではありません。ただ、日本語の空欄などに対応させる場合はよく用いられ、用いることは許容されています。

2. p136 1. 英語

英文のスラッシュの用法のうちのひとつで、

《詩などを引用するときに、区切りを表わす場所に使う方法です。“Furuikaya / Kawazutobikomu / Mizunooto.”のように、「/」の間にはスペースを入れて使います。》という使われ方をしているスラッシュです。

“Furuikaya / Kawazutobikomu / Mizunooto.”

また、

詩人トマス・ムーアの詩句 “I give thee all-I can no more/Though poor the offering be/My heart and lute are all the store/That I can bring to thee……”

のようなスラッシュは一マスあけでいいのでしょうか。

下の方は、日本語の詩行符のようなスラッシュの使われ方ですが、英文ではそのような使い方ができる記号があるのでしょうか。

それとも、そのままスラッシュの記号を使っても問題ないのでしょうか。その場合、原本に合わせて前後続けるか、それとも、文の切れ目なので、後ろを一マスあけてもいいのか。どちらでしょうか。

【A】

英語の場合は原文の記号をそのまま用いるのが原則ですので斜線を用います。英語点字の専門家に確認しましたところ、詩行符の役目で用いてあっても原文の通りに点訳するとのことでした。

斜線の前後のマスあけについては、《墨字で斜線の前後にスペースがあればマスあけしますが、特にマスあけを含む語句が斜線で区切られている場合、墨字で斜線の前後にスペースがなくても、点字では読みやすさを考慮し、斜線の前後をマスあけする処理も有効であろう》(『新版UEBベーシックマスター英語点訳の基礎』p19)と書かれていますので、斜線の前後でマスあけするのがよいと思います。

3. p136 1. 英語

一般書の中で「AT&T/WarnerMedia」という言葉がでてきます。これを外国語引用符で囲む場合、AT&Tはマスあけするのでしょうか。原本にスペースがないので、略語である場合スペースは使用しないのでしょうか。

また「S & P500」という言葉もでてくるのですが、こちらは点字表記の語例のように「S ■&■ P ■500」とするのでしょうか。

【A】

「AT&T/WarnerMedia」は全体として外国語引用符で囲んで書きます。英語の&マークは④の点に「へ」となり、略称の場合は前後を続けて書きます。

斜線も原文の通り続きますので、全体で27マスにもなります。その場合、斜線の後ろで行移しできます。

引大A T④へ大T④⑤⑥や大W a r n e r大M e d i a引

「S & P500」は外文字符ですので、日本語の&は前後をマスあけします。

外大S ■⑤⑥へ■外大P ■数5 0 0

4. p136 1. 英語

「発熱発疹性疾患 (Fever&Rash)」とあり、原文では「&」の前後にスペースはありません。この場合、前後マスあけか、ひと続きか、どちらでしょうか。

「英語点字表記では、墨字通りのマスあけが原則」とありますが、日本語の中にアルファベットの単語を挿入する場合、必ずしも原則通り点訳しなければならないとまでは言えない・・・という記述もあり、迷っています。

【A】

英語のアンド記号は、一般に前後の単語との間はマスあけし、略称の中ではマスを続けて書きます。墨字でもそのように書くのが一般的です。

今回ご質問の原本では続いていますが、区切って書く方が一般的ですので、アンド記号の前後マスあけした方がよいと思います。

5. p136 1. 英語

本の最後の参考文献で、1冊英語表記の文があります。

『CHANDELIERS』Elizabeth Hilliard, 2002, Octopus Publishing Group Limited

とあります。

この場合、『 』はどのように書いたらよろしいでしょうか。

【A】

『～』は日本語の記号ですので、コーテーションマークにして全体を外国語引用符で囲む方法もあると思います。

または、囲みの記号は用いずに、全体を外国語引用符で囲み、書名のうしろはコンマにして、他の項目と合わせてもよいと思います。

6. p136 1. 英語

英語の本の点訳です。原本中に BECKY & TOM とあります。アルファベット以外の記号&も含めて大文字の単語が3語と考えて、大文字パッセージ符・大文字終止符を使ってよいでしょうか。

【A】

全て大文字の文字・記号列が3つ以上続いたときには大文字パッセージ符を用いますのでご質問の場合も用いても間違いではありませんが、この場合は大文字単語符で処理した方がマス数が少なく済みます。

英語点字の専門家に伺ったところ、

「マニュアル通りにしたら大文字パッセージ符で書かれるかもしれませんが。機械なら、そうするでしょうね。でも、マスも増えてしまいますし、単語符を2回使ったほうがよいと思います。単語符が2度連続したぐらいでは、読んでいて一体感が崩れる感じはしません。規則上は、なんの配慮も払われてはいませんが。」

ということでしたので、ご質問の場合は、大文字単語符で処理した方がよいと思います。

7. p136 1. 英語

本文に「Kevin Can F* *k Himsejf」とあります。

*マークは小さくもう少し上部に書かれています。ここにはucが入り、とても下品な単語で、そのままの表示は憚られるようです。*マークをこのまま外国語引用符内で使ってもいいのでしょうか。

【A】

ご質問の場合は、*は伏せ字の役割をしていますので、*の数だけハイフンを書くのが一般的な方法です。

大F③⑥③⑥k と書きます。

8. p136 1. 英語

中学生の英語ワークブックの点訳です。

「ポイントの確認 Itis…for—to. の文」の見出しがあります。
Itis…for—to. はどのように書けばよいでしょうか。

【A】

一般に点線と棒線であれば、…の部分は、英語、日本語共に点線で、—の部分は、英語ではダッシュ、日本語は棒線を用います。

3種類に対応するのは、この見出しだけで日本語に対応しなくてもよい場合は、ダッシュとロングダッシュを用いてもよいと思います。

ただ、これに日本語訳を対応させなければならない場合は、英語にも、日本語にも使える記号として空欄記号を用いて書くとよいと思います。

I t ■ i s ■ ②⑤⑥ ②⑤⑥ ②⑤⑥ ■ f o r ■ ⑥ ③⑥ ■ t o ■ ⑤ ⑥ ③⑥.
I t ■ i s ■ ②⑤⑥ ②⑤⑥ ②⑤⑥ ■ f o r ■ ⑥ ③⑥ ■ t o ■ ④⑤⑥ ①③④⑥
①③④⑥ ①②③
④⑤⑥ ①③④⑥ ①③④⑥ ①②③ ■ スル ■ コトワ ■ ②⑤ ②⑤ ■ ニ ■ トッテ ■ ②②
②

というようになります。

9. p136 1. 英語

英語の本をUEBで縮約を用いて点訳中です。原本で、ダッシュで囲まれた補足説明は、その前後のコーテーションマークとの間にスペースがなく、続けて書いてあります。

“～. And in that direction” —it pointed the other paw— “lives a March hare. ～. ～.”

「コーテーションマークは外側の単語との間を一マスあける」に従って書くのでしょうか、「ダッシュの前後は墨字でスペースがなければ、点字でも続けて書く」に従うのでしょうか。

【A】

UEBのルール上では、ダッシュの前後のマスあけは原文の通りに書き、不揃いだったり不明確な場合は、前後をマスあけすればよいとなっています。

今回は前後と続けて書いてありますので、原文通り続けて書くことになります。

コーテーションは、was、hisと形が同じですが、wasとhisは、間に大文字符類が入ってもハイフンやダッシュ類と続けることができなくなりましたので、ダッシュとコーテーションを続けて書いても、混同することはありません。

10. p138 1. 英語 (7)

劉家秀 (Liu, Chia-Hsiu)

と書かれた人名は、どのように点訳するのが適切でしょうか。

【A】

カッコ内のアルファベットは「劉家秀」の中国語の発音を表しているようですので、
リウ■チアシウ（引大L i u②■大C h i a③⑥大H s i u引）

と点訳するのがよいと思います。

ですが、文脈や他の人名の扱いとのバランスによっては

リユー■カシュウ（引大L i u②■大C h i a③⑥大H s i u引）

のように、日本語の音読みを書いて、中国語での発音を表すカッコ書きを添えるのがよい場合もあるかもしれません。

11. p138 1. 英語 (7) 【備考】

TRIZは、20世紀の半ばに旧ソ連で考案されたアイデアで発想法です。日本語では「発明的問題解決手法」、英語では「Theory of inventive problem Solving」と呼ばれています。TRIZは、これを意味するロシア語の「～」の各単語の頭文字のラテン文字表記です。

上記の文章で、「～」の部分と、その頭文字はロシア語で書いてあります。この場合頭文字は略語なので外字符で書くと思うのですが、大文字符などはどう書いたらよいのでしょうか。「～」のロシア語は「てびき」p240のロシア語を使って書きましたがこれでよいのでしょうか。

【A】

ロシア語の点字を読める方はほとんどいませので、ロシア語で点訳するのは避けた方がよいと思います。

ネットで調べると、ロシア語のローマ字表記が出ていますので、「～」のロシア語部分は、外国語引用符で囲みローマ字表記で「Teoriya Resheniya Izobretatelskikh Zadatch」と書いてはどうでしょうか。必要な場合はその後に、点訳挿入符で《ロシア語原文をローマ字表記で書きました》のように断るとよいと思います。

TRIZは、点字ではロシア語表記でもTRIZになりますので、そのまま、外字符で、二重大文字符 TRIZと書いてよいと思います。

12. p139 「コラム26」

英語の文章中で、

3000m² → 2は上付きの小さい2です。つまり平方メートルですが、英語ではどのように表せばよいのでしょうか。

【A】

英語では、数学記号などはその記号を言葉に置き換えて書くことが勧められていますので、平方メートルは、square■metersと書きます。数字との間をマスあけて

数3 0 0 0 ■ s q u a r e ■ m e t e r s

となります。

13. p139 「コラム26」

英語の文献一覧中に数学記号「大なりイコール」が出てきます。

原文は、～Among Adults Aged \geq 65 Years ——です。

コラム26からフルスペルで書くのがよいと思いますが・・

～Aged greater than or equal to 65 Years～

でよいでしょうか。

【A】

「大なりイコール」の記号が用いられている場合は
greater than or equal to
と書いてよいと思います。

14. p140 2. ホームページやEメールアドレス

ホームページのアドレスの一部分が「DGKKZ032411590Z20C18A6BC8000」の場合、どこで行を移したらよいでしょうか。

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ032411590Z20C18A6BC8000/>

【A】

後ろの番号に意味のある区切りがあるのかどうか分かりませんでしたが、アルファベットから数字に代わる所または数字からアルファベットに代わる所で行移しすればよいと思います。

3マス目から書き出した場合

■■<https://www.nikkei.com/>

④[article/DGKKZ032411590](https://www.nikkei.com/article/DGKKZ032411590)

④[Z20C18A6BC8000/](https://www.nikkei.com/article/DGKKZ032411590Z20C18A6BC8000/)

と書くと3行に入るようです。

15. p140 2. ホームページやEメールアドレス

URLの書き方を教えてください。3マス目から書き出すと二つ目の「=」が行頭にきます。行頭にきてもいいでしょうか。

アドレスは、<https://www.youtube.com/watch?v=LZpWw4zxC54&t=4567s>

アットマーク、オーバラインは行頭から書くことができますようですが、ほかに行頭から書くことができる記号はありますか。

【A】

アドレスの行移しは、コロンや疑問符のような二マスの記号を分断することはできませんが、それ以外は、行移しを禁止する厳密なルールはありません。ただ、読み

やすさを考慮して、区切りのよいところで行うようになっていきます。「てびき」にある、ドット、スラッシュの後ろ、アットマークの前など以外に長いアルファベットが続いてマスあけしたいようなところで行移しをすることもできます。

ですから「=」の前で行移ししてもよいと思います。

ただ、このURLには「?」があります。URLでは「?」から後ろはパラメータ（変数）で、このURLの場合、「?」の後ろに、「v=LZpWw4zx54」と（&）「t=4567s」の二つのパラメータがあることを意味しているようです。ですから、意味の上からは「&」の前か「t」の前で行移しする方が、区切りとしてはよいように思います。

16. p140 2. ホームページやEメールアドレス

「i モードについてのQ & A」に関する質問で「電話番号@docomo.ne.jp」の書き方の回答について疑問です

「電話番号@docomo.ne.jp」がメールアドレスだと私は思うのですが、回答は@以降がメールアドレスという認識の回答になっていませんか。メールアドレスが「電話番号」からであればアドレス囲み符号は「電話番号」の前にあって良いのではないのでしょうか。

【A】

実際には、090-1111-1111@docomo.ne.jp または、09011111111@docomo.ne.jpのようなアドレスになると思います。この@より前の部分が人によって変わるので、まとめて「電話番号」と書いてあります。電話番号のまえからアドレス囲み符号で囲んでしまうと、「電話番号」という漢字4文字がアドレスと誤解される恐れがあります。この場合、「電話番号@docomo.ne.jp」と全体がカギで囲まれている上に《「電話番号@docomo.ne.jp」宛に》とカギで囲まれた部分がアドレスであることが分かるようになっていきますので、@からアドレス囲み符号で囲んでよいと判断しました。そうでなければ、数字の部分をxxxxのように書いて全体をアドレス囲み符号で囲んだ上で点訳挿入符で《xxxxには電話番号が入ります》のように断ることになります。そうすると原文とも異なってきますし、煩雑になります。いずれにしても「電話番号」という漢字4文字は、それをアドレスとして入力するわけではありませんのでアドレス囲み符号で囲むことはできません。

17. p140 2. ホームページやEメールアドレス【備考2】

「てびき」の「毎朝新聞」の例で、日本語囲み符号の中の「シンブン」から次の行になる場合、「シンブン」の前に行継続符が必要でしょうか。

【A】

日本語囲み符号の中では、一般の行移しのルールに従いますから、行継続符は用いません。

18. p141 3. 数学記号

寺田寅彦『万華鏡』「比較言語学における統計的研究法の可能性について」の数学の文字表記について質問します。

i個やi級（iはアルファベット小文字のアイ）は、iと個・級の間に繋ぎ符を挟むと思われますが、si個やsi倍（sに右下の添字i）だとどうなりますでしょうか。

「数学・情報処理点字表記解説2019年版」の中に似た例が見つけられず、施設に問い合わせると、「理科2019年版」p.3の α 線が α ■線なので一マスあけではないかとの回答がありました。そうすると、i 個や i 級もマスあけになりますか。

【A】

数学の教科書や専門書では「アルファベットの後に日本語の言葉が続く場合、算数・数学ではダッシュなどとの混同を避けるため、つなぎ符を使わず一マスあけにします。」

読み物などでは、つなぎ符を用いてよいのですが、この原本の該当箇所をみると、数式が頻出し、説明も数学の専門的な内容ですので、このタイトルの中では統一して一マスあけにした方がよいと思います。

19. p141 3. 数学記号

数学の問題集を点字編集システムとエーデルを用いて点訳しています。そこに、連立方程式の問題が出題されているのですが、その連立方程式の2つの式をくくるカッコはどのように点訳したらよいでしょうか。

【A】

連立方程式で上下の式の前に開きの丸カッコや中カッコが書かれていることがありますが、点字では、そのカッコを省略し、上下の式を3マス目から揃えて書くことが多いようです。

必要な場合は、点訳挿入符で、《上と下の式は、先頭が片カッコでくくられています》と説明を入れたり、点図（エーデル）で入れてもよいと思います。

墨字でも連立方程式の先頭に必ずカッコが書いてあるわけでもありませんので、試験など、限られた時間内で解答する必要がある場合は、特に必要なければ省略してよいのではないかと思います。

20. p145 5. 理科記号

最大酸素摂取量（ V_{O_2} Max）を上げることを目指す

と書かれています。「V」は量、「O₂」は酸素、「Max」は最大限を意味するそうです。どう書けばよいでしょうか。

【A】

O₂は酸素で原子と原子数ですので、「てびき」 p 145の酸素の例のように書きます。

Vは化学記号ではなく、アルファベットの大文字のVとなります。

外大V大O₂₃ となります。

そのあとのM a xは化学式ではありませんので、一マスあけて外引符で囲んで書いてよいと思います。全体で

外大V大O₂₃ ■引大M a x引

となります。